

# 9·10田中角栄・長吉暴行事件

☆ 人民をなめきつた日帝・中曾根  
根!! 田中を許すな!  
☆ 三里塚で中曾根・田中を打倒  
せよ!

すべての争議譲譲

九月十日、あの憎むべき人民の敵!!

大綱「水準をのりこえる大軍拡→齒止めなき軍拡への道だ。」

田中角栄は、自民党中央派議員研修会で許しがたい暴言を吐いた。われわれは、これを怒りなしに譲れないと。

**軍事大國化を公然と宣(ハ)ロ**

ひとつは、「防衛予算のGDP(国民総生産)一兆円」という看板を掲げて、これは日本の安全は守れない」というものだ。

いって、田中角栄の「日本の安全」とは何だ。むろ田中の侵略戦争によるものか、日本米争闘戦に勝利し、朝鮮・アジア人民の犠牲の上に、日帝の体制的侵襲をうなづくことだ。

八五年度防衛予算概算要求は前年度比七%増、総額3兆円を突破した。防衛費のGDP一兆円看板は妙読み段階にほひいた。

これは、「五九

中業」での「專守防衛」の破棄、「天皇の名のもとに侵略戦争を担った者を、天皇と國のために死んだ方々へ哀悼の意を表す」というふうに

(II) 「防衛予算のGDP(国民総生産)1%枠」という看板を掲げていっては

日本の安全は守れない」

(II) 「靖国神社国家護持に反対するのをおかしく、法律をつくるべきだ」

(III) 「公明党は危急存亡のときは自民党と一緒になるという性質の政党」「協力を求めれば、社会党員もこの自民党に投票する」

英語「聖神」があがめる靖国神社の国家護持、憲法の尊重、再興路への決定的歩みが、絶対に許してはならない。

すばる、靖国神社公式参拝の合意をもじて、「懇談会」が開かれた。

足が強行され、右翼=生長の家のとの天皇制右翼が横行し、田教組などに襲いかがり、暴虐の限りをつくしてゐるではないか。天皇制右翼の頭目三木、橋本=左派の中曾根にほかならぬ。まことに極右=天皇主義・中曾根とくびくは対に相入れない存在なの下、中曾根を必ず打倒しなければならないのだ。

### 公説田中・総動員の沿革

最後に、中曾根一田中政治団体による一切の反対勢力を屈服させたのである。

「これが、『公説』とは思ひなかつたが、社会意識せし中曾根と二つ並んで政黨だ」「暴力をもつては、社会意識せし中曾根で誰にならぬ」と、公説がはるかに説いてゐる。

二世、文字どおり「總決算」攻撃が一挙に全面化してゐる。こうした中で、社・共改指導部たゞじめ一切の政治勢力の終焉、終局が雪崩のように進行してこのようになった。

### 中曾根・田中政治の超反動

金權處敗の田中と海石、由加湖の詔が、田中・由加湖が、

「以上なつていつ異議の存在だ。」

田中、ヘロシキーハ記=田中・由加湖との結婚によって、やがて田中由加湖統治は、今日の体調問題を抱きはじめるに至つた。しかし、その破産は不可避だ。

田中・由加湖統治は、金權處敗一派間に潜むいたる私隸問題や、それが暴露された今も政治を主導り、何の制裁もつかず、つづらつとせめてうけてこらへた。労働者人民は、浪費の傾向マッハかり出す毎に手をひくにゆかねない。國鉄幹部は、つづらるに問題を抱かれて、田中由加湖は、人間の命

の尊重、再興路への決定的歩みが、絶対に許してはならない。また、田舎親のよう、「愛國」「國體」、共産主義と革命、右翼政治家に獻身した復讐徒黨、人民の敵对者なのだ。

極右翼政治家に献身した復讐徒黨、人民の敵对者なのだ。命

田中は、憲法政治において、人民の力の反対して、機動隊等、力で圧迫せず、人民の問題、懸念する——だ。

ついで中曾根・田中の憲法政治を許さる。人民の終つた爆発が、田中・田中を轟り去る。

### 「田中政で中曾根相支えたわせ!!」

田中相撲政治のやりたい放題の轟華に対して、社・共は

じつてその全面制覇、懸念が進んで云ふ。しかし、人民は全く見切れては、田中・由加湖は中止も、田中権力

を失ひ、不屈の人間の精神にしてお在してい。

田中・由加湖、由加湖は元々も、万能武道

の力で、田中・由加湖、「戦後史總編集」に内政の最大の環を三里塚一期攻撃にかけ、今秋二期着工三里塚返圧殺して、一挙に公説の突破口をひらけたとしている。

二度と、今秋二期着工原野へ、日本・由加湖、全國學生

団体が、人間の敵=田中・由加湖が川口塚に轟き飛ばしても

田中由加湖、中曾根は、三里塚集会大阪の血

由加湖(中曾根)——○三里塚現地大作争に結集せよ!!